

第三十七回川柳の会「つばやまの会」

場所 西花苑コミュニティ集会室

講師 桜井亮先生指導



日時 六月七日(木) 十四時～十六時

定員十五名(会員募集中) 雑詠五句投句持参のこと

投句(短冊に書く) 浄書(きれいに書く)

選句(自分の投句を外す) 披講(選んだ理由を発表)

○投票で 一席・二席・三席決定

一席(四点句)

○歯科女医の胸が当たって痛みなし。

○セウハラも笑いで飛ばす老人会。

二席(三点句)

○八十路すぎ床別・部屋別・トイレ別。

三席(二点句)

○地震きてととくに押さえた 一升瓶。

○妻の愚痴聞いてやるのも俺の役。

一点句

○花の水オシにはお酒アゴは金。

○譲られた席ありがたく温かい。

○友の家訪うれと草地の被災地か。

○なんとまあ今宵の月はまんまるよ。

○パワハラはうちのケアちゃんもこと上。

○猫殿は十八窓辺で転寝し。

○健康と愛とカネだけあればいい。

○ありがとうは絃弦に今日も励まされ。

○鼻かめば涙と線香混じってる。

○訪れた雀ひよいと音かしげ。

無点句

○認知症ハシカ・オタコりおぼえてる。

○朝景色丸めて映す蓮の露。

○新しい朝が来たら幸せだ。

○シタツリる撤退さみしい一人もの。

○今になり働き方で迷っている。

○酒蔵の日めくり白き薄曇かな。

○今此処にあつた書面ははずこやら。

○陽きらめく清冽な流れ広瀬川。

六月七日川柳の会でのと投句です。」